

令和4年度 第5回青梅市子ども・子育て会議 要旨

会議の概要

開催日時	令和5年2月6日(月)
開催場所	青梅市役所災害対策本部室(オンライン併用会議)
出席者	<p>委員</p> <p>坂井隆之(明星大学特任教授)                  中村明子(市民委員)                  嶋崎雄幸(嶋崎税務会計事務所所長)                  高木博康(青梅市保育園理事長会副会長)                  宮川美子(青梅梨の木保育園園長)                  横山牧人(青梅私立幼稚園協会会長・青梅幼稚園園長)                  刀禰浩子(青梅市立第五小学校校長)                  空野竜雄(株式会社モアスマイルプロジェクト事業担当)                  栗原久美子(特定非営利活動法人青梅こども未来代表理事)                  大野葉子(青梅市民生児童委員合同協議会理事)</p>
	<p>事務局</p> <p>木村(子ども家庭部長)                  加藤(子育て推進課長)                  濱野(子ども家庭支援課長)                  原島(健康課長)                  高橋(子育て推進課子育て推進係長)                  竹中(子育て推進課保育・幼稚園係長)</p>
欠席委員	<p>池田政教(青梅商工会議所専務理事)                  野口綾乃(市民委員)</p>
議事	<p>○ 答申                  (1) 特定教育・保育施設の利用定員の設定について(答申)</p> <p>○ 報告事項                  (1) 幼児園および家庭的保育事業者の廃止・休園について                  (2) 令和5年度青梅市子ども・子育て会議の開催予定について</p> <p>○ 協議事項                  (1) ニーズ調査について</p>
傍聴人数	0人
配布資料	<p>会議次第</p> <p>資料1 青梅市子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>資料2 特定教育・保育施設の利用定員の設定について(答申)</p> <p>資料3 幼児園および家庭的保育事業者の廃止・休園について</p> <p>資料4 令和5年度青梅市子ども・子育て会議の開催予定について</p> <p>資料5-1 青梅市調査票(案)【保護者用】</p> <p>資料5-2 青梅市調査票(案)【中高生用】</p>

議事要旨（口述筆記ではなく、発言の趣旨をまとめたものである。）

発言者	発言要旨等
会 長	議事に沿い進行する。3. 答申について、事務局から説明を求める。
事務局	3. 答申について説明。会を代表して会長から市長へ答申。
会 長	4. 報告事項（1）幼稚園および家庭的保育事業者の廃止・休園について、事務局から説明を求める。
事務局	4. 報告事項（1）幼稚園および家庭的保育事業者の廃止・休園について資料3を説明
会 長	なにか質問はあるか。
委 員	特になし
会 長	4. 報告事項（2）令和5年度青梅市子ども・子育て会議の開催予定について、事務局から説明を求める
事務局	4. 報告事項（2）令和5年度青梅市子ども・子育て会議の開催予定について資料4を説明
会 長	なにか質問はあるか
委 員	特になし
会 長	5. 協議事項（1）ニーズ調査について、事務局から説明を求める。
事務局	5. 協議事項（1）ニーズ調査について資料5-1、5-2を中心に説明
会 長	まずは調査票（案）保護者用について検討したい。何か意見はあるか。
委 員	問12の回答項目に「漠然とした不安がある」という項目を入れたらどうか。次に問15の回答項目1の「年に1回程度家族旅行に行く」の部分で、年に1回程度との文言を入れたのには、何か理由があるのか。私はなくてもいいのかなと思う。次に問18の入園していない場合の理由の回答項目に「在宅ワーク」を加えた方が良くと思う。次に問21の回答項目6の「べんきょう」は他の問いの回答項目ではすべて漢字で「勉強」になっているので、合わせた方が良く。次に問23で放課後に過ごす場所として子育て支援センターは回答項目にあるが、子育てひろばがないので、入れてもらえたらなということと、回答項目には入らないと思うが、子どもの第3の居場所として市とNPOが協定を結んで実施している「みらくる」もあるので、知らない人も多いと思うので、注釈に入れてもらいたい。次に問24の回答項目に「ネット環境がある場所」を入れてもらいたい。
会 長	他に意見はあるか。
委 員	保護者用調査票の3ページの前回ニーズ調査の結果の箇所についてだが、5年に1回の調査だと分かってもらうために、前回調査は平成30年8月と追記したほうがよい。
会 長	事務局は、これまでの意見に対して説明することはあるか。
事務局	3ページの件については、そのように追記する。問12については今後検討する。問15については、年1回程度ということで、最低ラインを提示している。問18は、在宅ワークの回答項目を追加する。問21は、漢字の「勉強」に修正する。

	問 23 は、後ほど子ども家庭支援課長から説明する。問 24 は「ネット環境のある場所」の回答項目を追加する。
事務局	問 23 の意見について、子育てひろばは、回答項目 7 の市民センターの中にあるのでその中に含んでいると考えていたが、9 の子育て支援センターの表記を変えるかどうかについては検討する。「みらくる」については記載方法を検討する。
事務局	問 15 の家族旅行の件について補足する。5 年前のニーズ調査でも貧困に関する質問としてこの回答項目を設けていたが、旅行はお金がかかるもので、実際に年 1 回の旅行にも行けない家庭もあり、そこに市としても注目していかなければいけないので、年 1 回程度という文言は残したいと考えている。問 23 の注釈については事務局で記載方法を検討する。
委員	問 15 の回答項目 1 と 2 については、貧困関係なくコロナの影響で行っていないという家庭もあると思うので、明確な結果が得られるのかなと感じたのと、問 21 の回答項目にゲームはあるが、外遊びに関する項目がない。少し回答項目の内容が偏っているかなとも感じた。
事務局	コロナの影響の部分については、事務局で再度検討する。
委員	3 ページ内で、放課後児童クラブと学童保育所と 2 つの単語が出てきているが、使い分けしているのか。また放課後児童クラブまたは学童保育所は、問 25 ではどの項目に該当するのか。
事務局	放課後児童クラブと学童保育所は同じ意味合いであるが、正式名称は放課後児童クラブである。その他学童クラブと呼ぶこともあり、自治体によっても呼び方は多少異なる。わかりづらいと思うので、3 ページに記載されている放課後児童クラブの後に学童保育所と追記する。問 25 については、子育て支援施設に該当する。回答者が分かりやすいように注釈に追記する。また放課後児童クラブと同じような名称で放課後こども教室の事業も実施している。この事業についての項目は学校教育になるが、この部分に関しても注釈に追記する。
委員	問 21 の回答項目 5 の「一人でゲームなどをしているとき」についてだが、今はオンラインで友達等とつながっている場合が多いので、今のこどもは一人で遊んでいるという感覚はないと思う。一人で遊ぶ、友達と遊ぶのどちらが多いか知りたいだけなのであれば、回答項目は「一人で遊んでいるとき」「友達と遊んでいるとき」だけでいいと思う。
事務局	その通りだと思う。再度検討する。
会長	保護者用の調査票でほかにご意見あるか。
委員	特になし
会長	それでは中高生用の調査票の協議に入る。ご意見あるか。
委員	問 7 の回答項目 10 について、「買い物や観光地に家族とでかける」だと行動が限定されているので「家族とでかける（買い物、旅行等）」の方がいい。また項目にその他を追加した方がいい。次に問 15 の回答項目 6 の「耳が聞こえにく

	い」は「耳鳴りがする」という表現の方がよいと思う。また9の「よく体がかゆくなる」はストレスによるものなのか、アレルギーなのか分からないので、アレルギー等の項目を追加したほうがいいのか。次に問19の回答項目6についてだが、けん玉とか趣味を教えてくれる大人もいると思うので、「勉強やスポーツ」の文言に「趣味」も追加したほうがいい。次に問20だが、中高生だと部活をやっている子も多く、部活動との関係も重要な部分だと思うので、その項目もあった方がよいと思う。次に問21だが、回答項目12と13を逆にして、その他の括弧を広げた方がよい。
会 長	問15については、なかなか難しい質問だなと私は思う。
事務局	問15については他の自治体で以前貧困に関する質問の1つとして行なっている。その際は、経済的に恵まれている層とそうでない層とで健康感にはっきりとした差が出ていた。青梅市でももしそのような結果が出れば、経済的に恵まれている層の方々にどのようなサービスが提供できるのかということまでつなげていきたい。そのために事務局として質問項目に入れた。
委 員	問15については事務局の説明を聞いて納得できたが、問16はどのような意図で聞く質問か。
事務局	問16については自己効力感に関する質問として入れた。この部分についても過去に実施している他自治体では、経済的に恵まれている層とそうでない層とで差が出ている。
事務局	過去の他自治体の調査結果を受けて策定した計画を見ても、経済支援とかこどもの居場所とか現在青梅市で実施している事業がたくさんある。来年度にニーズ調査を実施するが、その結果については今後の青梅市の子ども・子育て事業の施策の方向性の判断材料になる。そのための質問を設けているので、皆様に協議いただき、判断いただきたい。
委 員	問21については私自身は不登校につながる質問なのかなと考えているが、その場合今の回答項目では理由を探すには少なすぎる気がする。
事務局	不登校の理由は多岐にわたると私も考えていて、100人いたら、100通りあると思う。回答項目についてはどれだけ増やしても完全に一致する理由を探すのは難しいと思うので、これ以上増やさない方がよいと考えている。
委 員	問19の質問だが、「親以外」ではなく、「家族以外」にした方が分かりやすい。
事務局	その通りだと思うので、修正する。
委 員	問21について、質問が「悩んでいることはあるか」と聞いているのに、回答項目はすべて〇〇してほしいとなっていておかしい。〇〇していないというような表現に修正したほうがよい。また2の部活動の種類・内容・設備について悩んでいる子どもはそんなにはいないと思う。問20で部活動に関する項目を入れるのであれば、2はいらないのかなとも思う。
事務局	問21については、教育委員会にも意見を伺い、回答項目を検討・修正したい。
委 員	悩んでいる内容については多岐にわたると思うので、その他の括弧の前に具体

	的に書いてください等の文言を入れた方がいいと思う。
事務局	以前調査の仕事をやった時に担当したコンサルに聞いた話だと、回答が面倒くさいとその他に○をつける傾向があり、そのためその他に括弧をつけることで具体的に記入してもらえるとのことであった。今後契約するコンサルとは、調査目的からずれない範囲でどのような表現をすることで統計学上より良い回答が得られるのかとか質問の順番等も含め、相談し調整する予定である。委員の皆様からいただいた意見をもとに調整する。
会 長	他に意見あるか。
委 員	特になし
事務局	国の方では、今年4月に子ども家庭庁が発足し、秋にはこども大綱が策定されることとなっている。その大綱の中に含まれる少子化対策については現在の事業計画の中にはない。今回の質問項目にも少子化に関するものはないため、今後契約するコンサルと相談し、1問程度少子化に関する質問を設ける予定なので、委員の皆様にはご承知置きいただきたい。
会 長	保護者用の調査票に1問加わるということか。
事務局	その通り
会 長	他に意見あるか。
委 員	意見というわけではないが、青梅市の基本姿勢である「あそぼうよ！青梅」に青梅市として今後どのようなビジョンを描いていくのか。「あそぼうよ」といっても選択肢はいろいろある。青梅は自然豊かな場所でもあるので、そこも絡めてどのようなまちづくりになっていくのか、青梅が盛り上がっていくのか今後期待したい。
会 長	調査票に関する意見は一通り出たようなので、あとは事務局で検討・修正してもらおうとして、次に調査票の名称について協議したい。意見はあるか。
事務局	一つの意見として、今回提案している調査票（案）では、保護者用はニーズ調査、中高生用は生活実態調査との名称にしている。今回の調査の目的、内容から考えると実態調査の方が近いと事務局としては考えている。皆様からご意見をいただき、決定したい。
委 員	回答率を上げることを考えると名称は大事。例えば「次期青梅市子ども・子育て支援事業のための調査」とか「より良い子ども・子育て支援事業策定のための調査」など、より良い子育て施策を策定するための調査なんだよとわかるような名称にしたい。
事務局	ご意見ありがとうございます。この場で名称は決めたいと思っていたが、この場ですぐにアイデアを出していただくのは難しいかなとも思うので、今月中に良い名称が思いついたらメールで報告いただきたい。それをもとに事務局で検討したい。
事務局	さきほど委員さんから青梅が盛り上がることに期待したいという言葉があったが、青梅市では移住・定住促進プランを策定した。このプランの原案は市で作

	成したが、市民に親しみの持てるものということで議論を重ねて行って完成した。この子ども・子育て会議でも委員の皆様が青梅で楽しく子育てが実現できるようにと毎回議論を重ねていただいているので、調査票の名称も親しみのもてるものになるよう提案いただきたい。
会 長	事務局に聞きたい。保護者用調査票と中高生用調査票の名称は合わせるのか。
事務局	合わせたいと考えている。
会 長	分かりました。では委員の皆様、良い名称が思い浮かんだら事務局に連絡してください。
会 長	第3回会議からニーズ調査についての協議を行ってきたが、このほかご意見あるか。
委 員	特になし
会 長	特にないようなので、ニーズ調査についてはこれから修正する部分も含め、これまで決めてきた内容で承認とする。
会 長	最後に「6.その他」になるが、委員の皆様または事務局からなにかあるか
事務局	事務局からはありません。
委 員	令和5年度の保育園の入所のお話で話したい。現在2次募集をおこなっているところであるが、全部で443人のお子さんを募集している。2018年は143人だったので、少子化により年々申請者が減少している。そのためさきほどのお話であった青梅市の移住・定住促進プランの効果に期待したい。
会 長	他になにかあるか。
委 員	特になし
会 長	ないようなので、令和4年度第5回青梅市子ども・子育て会議を閉会する。現メンバーでは最後の会議となる。皆様、2年間お疲れさまでした。

会議録を確認したことをここに署名する。

令和 年 月 日